

安心してください！ 防災やっていますよ！

大阪大学大学院・渥美公秀教授が推奨する「**イツモ防災**」。「イツモ」とは、みんなが、いつもやっていることが防災に繋がることが示しています。前回に引き続き「**遊びや趣味**」の中で考えましょう。

今回は、漫画の『**ONE PIECE**』（ワンピース）から防災を学んでみましょう。阪神・淡路大震災の翌1996年『週刊少年ジャンプ』で原作となる読み切り作品『ROMANCE DAWN』として掲載、1997年7月 ONE PIECE として、『週刊少年ジャンプ8月4日号』から連載が開始されました。【**偶然にも加古川グリーンシティ防災会が同時期に活動を開始**】

内容は夢への冒険・仲間たちとの友情といったテーマで、バトルやギャグ、感動をメインとする少年漫画として、国民的人気を博しています。

ストーリーは、かつてこの世の全てを手に入れた海賊王「**ゴールド・ロジャー**」が遺した「**ひとつなぎの大秘宝（ワンピース）**」をめぐり、幾多の海賊達が覇権を賭けて争う「**大海賊時代**」が到来。東の海（イーストブルー）のフーシャ村に住む少年「**モンキー・D・ルフィ**（主人公）」は、村に滞在していた海賊「**赤髪のシャンクス**」と親しくなり、海賊への憧れを募らせ

ます。ある日、ルフィは「**ゴムゴムの実**」という悪魔の実を食べ、一生泳げない体になる代わりに、全身が伸び縮みする能力を持つゴム人間となります。それからしばらくして、この物語の鍵となるエピソードが起こります。ルフィがシャンクスをおとしめる山賊達から怒りを買って、海に投げ込まれてしまうのです。溺れかけ、巨大魚に食われそうになったルフィを、シャンクスが自らの片腕を犠牲にして助け出します。その後、村を去る間際のシャンクスから、ルフィはトレードマークの麦わら帽子を託され、将来立派な海賊になって再会することを約束します。シャンクスとの別れから10年後、修行を重ね17歳になったルフィは、海賊王を目指してフーシャ村を旅立ち、ここから幾多の重大事件に遭遇し、その都度、色々な人と出会い、出会いの中で力を蓄え、チームを創り上げ、みんなで解決していく物語です。

防災と何が関係するの？と思いますよね。でもこの漫画から色々なことが気付かされます。

エピソード1『海賊王になる！』と、まず「自分がどうなりたいか」を定義しているところです。ルフィは「海賊王」になって何かをしたいのです。地位や名声ではなく「何か」（現時点では未公表）を心に秘め

ていることです。防災も「何のために防災活動をするのか」「誰のためにやるのか」をしっかりと自分の中で定義する必要があります。漠然と「町を守る」「人を守る」といっても、継続した活動には繋がりません。また「いつ襲ってくるのか判らない災害のためだけの備え」と考えてしまうと継続できないものです。やはり自分の中で「**何のために！**」をしっかりと定義しておかなければなりません。

エピソード2『赤髪のシャンクスが自らの片腕を犠牲にしてまでもルフィを救った行為にルフィも更なる憧れとなります。』これは日常の生活でも同じことがいえます。何かを成し遂げるためには「何か犠牲になってしまう」。何かの活動をするとなると平等に与えられた、24時間という自身の貴重な時間を割いて行うのです。この時間を「何処の誰か判らない人のために時間を割くこと」は長期的にはできません。幾ら人の命とはいえ、備える行為をしない人のために行動をすることはできません。やはり、共に備える活動をする人同士でしか助け合うことはできないものです。これらの話をすると「人が目の前で助けを求めているのに助けられないのか！」とお叱りを受けます。でも考えてみてください！助けを求めている人が1人なら、目の前の人を助けるのは人として当然の行為です。しかし、挨拶もしたことの無い他人とあなたの大切な人との2人、またはそれ以上だった場合、あなたは誰から助けますか？この瞬間！綺麗事では済まされないことがあるのではないですか？シャンクスもルフィは自分の大切な人だったから、身を削ってまでも助けたでしょう。そう考えると・・・！

エピソード3『色々な人と出会い、出会いの中で力を蓄え、チームを創り上げ、みんなで解決していくこと。』これは、自分ひとりで解決できないような事件が発生すると、自分の持つ情報を開示することで他の人から情報を入手できます。この「持ちつ持たれつ」の情報のやりとりから、出会いがあり、出会った人同士がお互いに切磋琢磨し力を蓄え、出会いの繰り返しでチームが大きく強くなっていきます。このチームの中で学び、技術力（能力）をアップする事で、何かが発生した時に守りあえることに繋がるのです。

エピソード4『事件が起こる度！』災害時「**守ることのできる人**」を創るのではなく「**助かりたい人が助け合うチーム**」を構築することで「**大切な人を守る為のシステム**」ができ、継続可能な活動になります。

でも「**漫画が防災に？**」と思われるかも知れませんが、そんな時、みなさん胸を張って言ってください「**安心してください！これも防災訓練です！**」つづく

